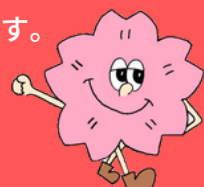


情報活用能力を通じて 子どもの主体性を引き出す！

情報活用能力の育成を通して、子どもが主体的に学び続ける授業づくりに取り組んでいます。

子どもたちが疑問をもち、情報を集めて整理し、伝え合う姿や、
学習を自分で調整している姿、その学びの過程をレポートしていきます！

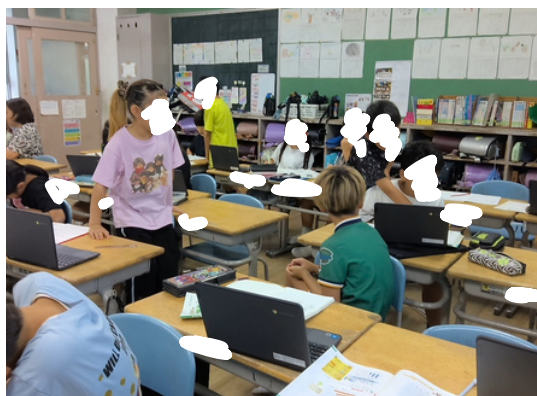
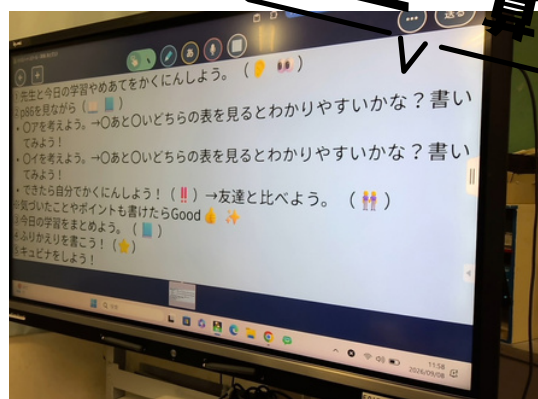


3年生 算数

授業の様子

3年生の算数では、ロイロノートに用意されたその時間の「手引き」を見ながら、自分たちで授業を進めています。グラフの学習でも、手引きを確認しながら、一人ひとりが学習を進めていました。

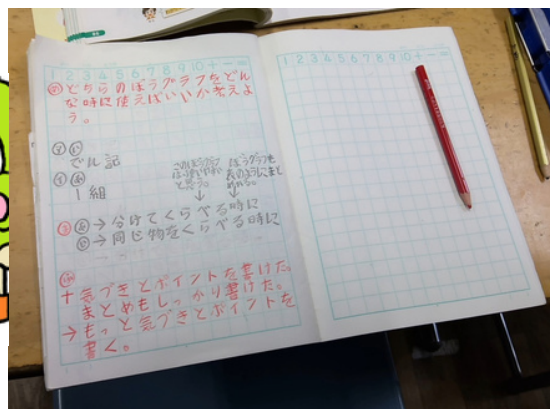
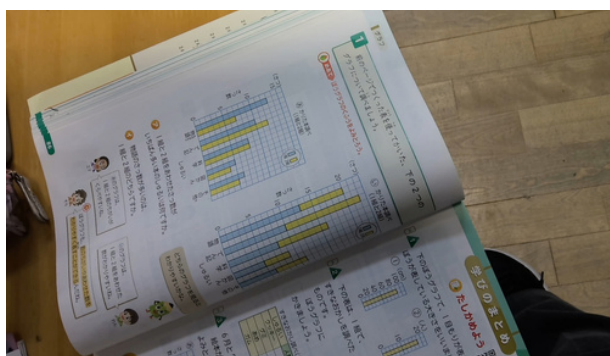
先生からの指示を待つのではなく、手引きを見て次にすることを考えながら取り組んでいました。



自己調整学習

「時間配分をどうするか」「誰と学ぶか」「どのように学ぶか」を自分で考えながら、学習の進め方を調整していました。分からないことがあれば教科書を読み返したり友だちに聞いたりなど、自分に必要な方法を選びながら学ぶ姿も見られました。振り返りでは、今日できたことだけでなく、「次はどうするか」まで考えて書き進めていました。

すてきな姿✨



学習中、「大切なことや分からないことは、教科書のここに書いてあるんじゃない？」と気付いた児童の声を、担任の先生が全体に紹介しました。「みんなに発信できるのってすてき！教科書をよく読んでいる証拠やね」と声をかけてもらい、自分の気づきをみんなの学びにつなげる姿が見られました✨